

※ 今週のアウトルック(4/10~4/14)

先週は狭いレンジ内での動きが続いたのち、金曜日の米国雇用統計の発表を受けて各通貨ペアとも上昇の兆しを見せながら週末を迎える形となりました。

米国雇用統計はほぼ予想通りの結果であったものの、5月も利上げするとの見方が強まりドル買い、円売り方向にやや進む状況となりました。

今週はまず、このドル買い状況がどのあたりまで進むのかを見極める必要があります。

先週のドル円は、一度130円台前半まで下落したものの、米国雇用統計の結果を受けて132円台まで上昇しそのまま週末を迎えています。

今週はまず、どのあたりまでドル高が続くのかを見極める必要があります。

134円から135円付近にレジスタンスラインがありますが、このラインをブレイクできるのか。今週ブレイクできる可能性は4割程度と考えています。

ドル円の予想レンジは127円から138円です。

先週のユーロ円は145円付近のレジスタンスを超えられずに、一度142円台まで後退したものの、週末には144円台まで回復してそのまま週末を迎えています。

今週は再び、145円付近のレジスタンスブレイクに向かうかどうかは注目されますが、ユーロドルがそろそろ下落兆候を見せていることが気にかかります。

1.05付近をターゲットに下落した場合、ユーロ円も再び140円付近まで下落する可能性も考慮した方が良さそうです。

ユーロ円の予想レンジは140円から146円です。

ポンド円はやや頭打ち傾向が出てきています。

このまま166円付近のレジスタンスを超えられない場合、一度160円付近まで下落する可能性が強まりそうです。

ポンド円の予想レンジは158円から167円です。

米国雇用の結果から5月利上げの予測が強まったものの、やや景気の減速感も強まっているため、その先の景気対策に関心が移っていく可能性もありそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。